



町政に関する

一般質問の主題

一般質問の会議録全文は
町のホームページから検索できます

村上 真由美

- 投票率向上の取組みについて
- ペットと安心して避難できるようにペット防災手帳の導入について
- 夏休み中の学童クラブの運営について
- 学校の暑さ対策について

川上 力

- 外国人との共生に向けた取組みについて
- 安定したごみ収集体制の確立と、ごみ出し困難世帯への支援の実現について
- 防災対策の推進について

増田 秀雄

- 障がい者災害時支援バンダナの作成について
- 稲作の対策について
- 夏場における避難所の環境整備について
- 松伏町平和都市宣言に関連した事業の展開について

砂川 清時

- 町の土地利用構想について
- 田島南交差点の安全対策について

松岡 高志

- 自治会への「町政等に関するアンケート調査」について
- 松伏町の空き家対策について

平野 千穂

- 就学援助制度の拡充を
- 内水氾濫被害の軽減対策を
- 田島南調整池広場の運営について
- 平和事業の推進を

吉田 俊一

- 福祉タクシー利用券助成の充実について
- 高校生などのバス通学・定期券購入への助成制度を
- 町北部の住宅地の道路・側溝の整備について

7人の議員が町政を問う



むらかみ まゆみ
村上 真由美
(公明党)

Q 投票支援カードの導入を

A 町選挙管理委員会で協議

問 投票率向上に向けて官民が協力していく事も必要だ。一般社団法人選挙割協会は、選挙の投票後の投票済証で加盟店で割引などのサービスが受けられる。町商工会を支援して選挙割の町内加盟店を増やす取組みは出来ないのか。

答 総務課長 選挙を通じた地域の活性化、投票率の向上を目指す観点から、町商工会や推奨特産品販売店、カレースタンプラリー登録店へ情報提供を行う。

問 様々な障害で選挙で投票が困難な方もいる。必要な支援や配慮してほしいことを事前に記入し、支援を受ける事で、安心して投票に行くことができる。町でも投票支援カード導入が出来ないのか。

答 総務課長 町選挙管理委員会において協議する。

問 町のホームページを見ると学童クラブは、夏休み中の預かりはしないとしている。夏休みだけの預かりが出来ないのか。

答 すこやか子育て課長 現在、令和8年度から令和12年度までの指定管理業務の公募を行っている。令和8年度以降は、定員に余裕があれば、夏休み期間中だけの利用も可能になると考える。

問 学校の体育館に冷房をつけることが命を守る意味で優先すべきだ。町長の考えを伺う。

答 町長 今回の9月定例会の補正予算に「体育館空調設置工事基本設計業務委託料」を計上した。



支援の必要な方が安心して投票しやすいように



かわかみ つとむ
川上 力
(公明党)

Q 災害時のTKB対策推進を

A 調査研究し災害協定締結を検討

問 外国人との共生に向けた取り組みについて。

答 企画財政課長 多文化共生社会を推進することを目的に、「まつぶし日本語ひろば」を引き続き開催するとともに、更に多くの外国人の方々に参加していただけるよう、今後、店舗へのポスターの掲示について拡大を検討する。

問 安定したごみ収集体制の確立と、ごみ出し困難世帯への支援実現について。

答 環境経済課長 松伏町環境事業協同組合へ業務を一括して委託することは、組合設立の大きな目的である「相互補完機能」が構築されることから、安定的なごみ処理を行うために必要と考えている。また、ごみの個別収集については先進自治体の取組を参考にしながら調査研究する。

問 防災対策の推進について。

答 総務課長 トイレカーやトイレトレーラーの導入は、活用している近隣市町の事例や民間事業者と

の災害協定の締結を踏まえ、引き続き調査研究する。また、キッチンカーによる食事の提供等については、避難所での温かい食事の提供に大変有効であり、事業者との災害協定締結を検討する。防災フェスティバルにおけるキッチンカー出店について今後検討する。



災害時のTKB(トイレ・キッチン・ベッド)の対策推進



ますだ ひでお
増田 秀雄
(未来クラブ)

Q 体育館の冷房機器の設置について

A 設置に向け設計業務委託料を計上

問 障がい者災害時支援バンダナの作成について。

答 町長 令和2年度に「障がい者災害時支援ビブス」を30枚作成し、10人に配布した経緯がある。

答 いきいき福祉課長 令和5年度以降は配布していない。このためバンダナではなく現在のビブスを町が作成している福祉ガイドへ掲載することで、窓口やホームページなどで周知を行い希望者に配布していく。

問 町内小・中学校5校の体育館及びB & G海洋センターの体育館冷房機器の設置計画について。

答 総務課長 指定避難所の町内小・中学校5校の体育館のエアコン設置に向け、今回の9月定例会の補正予算で、「体育館空調設置工事基本設計業務委託料」を計上した。

答 教育文化振興課長 B & G海洋センターは、B & G財団の補助金を活用し、エアコンの設置を検討

していく。

問 松伏町平和都市宣言に関連した事業の展開。

答 町長 平和都市を宣言している本町にとって、町民の皆様の平和への意識を高めることは重要なものであると認識している。議員からご紹介いただいた事例を含めて、当町として町民の皆様の平和への意識の醸成が図られる事業について、前向きに検討するよう、関係課に指示をする。



障がい者災害時支援ビブス



すながわ きよとき
砂川 清時
(自民クラブ)

Q 町の土地利用構想を問う

A 企業誘致を積極的に行う

問 ①土地利用検討エリア、②新市街地形成拠点エリアの開発構想を問う（図参照）。

答 新市街地整備課長

①土地利用検討エリア（図：ア、イ、ウ）

令和6年度に（イ）町南部の東埼玉道路沿いのエリアにて、地権者の皆様を対象にアンケート実施。令和7年度は（ウ）町南西部の浦和野田線付近の広域幹線道路沿線のエリアにて、アンケート調査を実施し、土地利用の可能性について検討する。

②新市街地形成拠点エリア

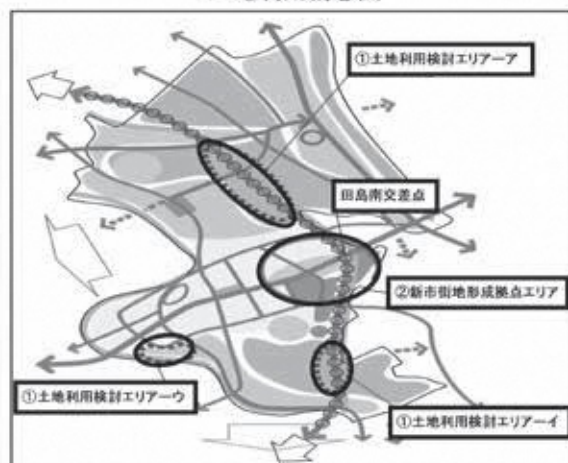
交通結節点として、新交通システムのBRTへの乗り換えが可能なバスターミナルの設置を検討する。

いずれも、土地利用構想については、開発の優先順位を設けておらず、地権者の皆様の合意が得られた箇所から開発を進めていく。

答 町長 町の土地利用構想については、各施策をき

め細やかに実施するためにも、企業誘致を積極的に行い、自主財源を確保すべきである。従って、職住近接のまちづくりを進め、人口減少に歯止めをかけ、町民が誇れる「選ばれる松伏」を目指していかなければならない。

土地利用構想図



まつおか たかし
松岡 高志
(チェンジ松伏無所属クラブ)

Q 町民の声をどう町政に反映する

A 直接、意見交換できる場をつくる

問 町長は、自治会へのアンケート調査の結果を受けて、町の現状をどう捉え、住み続けたい町、選ばれるまち松伏をどう目指していく考えか。

答 町長 当町を住み続けたい町、選ばれるまちにしていくためには、引き続き町内外に町の魅力を発信し、郷土愛の醸成を図りながら、転出を抑制しつつ、併せてトップセールスを推進することで、低い評価の分野を、行政だけではなく、民間事業者の協力を頂きながら施策を展開し、転入促進を図っていく必要があると考えている。

問 町長出前講座の開設で、町民の声をより町政に反映が図れると期待している。町長の考えを伺う。

答 町長 多くの町民の方の声を聞く場として、まつぶし出前講座に高野町長と語ろう！～オープンミーティング～を追加し、既に自治会や老人クラブの方々からお問合せを頂いており、現在、9月議会終了後の開催に向け、日程やテーマを調整し

ている。また、各種要望のある現場に直接出向き、町内の現状を確認することで、要望事項の優先順位等も判断していきたいと考えている。今後も、私が様々な場面で直接町民の皆様と意見交換をする場をつくり、また、町の考え方を直接お伝えすることで、町と町民による協働のまちづくりを進めてまいりたいと考えている。



松伏町「町政等に関するアンケート調査」結果報告書の表紙(松伏町ホームページより)



ひらの ちほ
平野 千穂
(日本共産党)

Q 浸水被害経験地域の被害軽減対策

A 緊急流域治水プロジェクトを実施

問 集中豪雨の発生頻度が増え内水はん濫の被害リスクが拡大している。長宮、田中、下赤岩等、過去に浸水被害があった地域の被害軽減対策は。

答 町長 令和5年6月の台風第2号の影響により甚大な浸水被害が発生したことから、国、埼玉県、当町を含む関係6市1町が連携し「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」を令和6年4月に策定した。浸水被害の要因が内水はん濫であったことを踏まえ、市町は排水機能や貯留機能の強化など内水はん濫対策。国・県は河川の掘削や堤防整備等の洪水はん濫対策を実施し、概ね5か年で浸水被害の大幅な軽減を目指す。当町では、災害対策用移動式ポンプ購入、排水路整備、内水ハザードマップ作成、浸水センサ設置、土のうステーションの整備等を進めてきた。

問 新規排水路整備や、改修の要望や必要性があるがまだ未着手のところはどの程度あるのか。

答 まちづくり整備課長 プロジェクトでの排水路整備は全て終了している。今後、排水路整備の必要性、雨水貯留施設について、しっかり検討する。

問 グリーンインフラを活用した取組、町の考えは。

答 まちづくり整備課長 田んぼダムによる雨水流出抑制や、公園や学校における雨水貯留の取組など様々な事例がある。治水対策におけるグリーンインフラの取組導入をしっかりと調査研究していく。



令和5年6月の大雨で内水氾濫となった長宮地区



よしだ しゅんいち
吉田 俊一
(日本共産党)

Q 町北部の住宅地の排水問題について

A 状況把握のための調査を実施したい

問 町北部の住宅地（みずくみ団地、柿の実団地）から側溝・排水対策の要望が長年寄せられている。地盤沈下により、側溝の勾配が取れていない。

答 まちづくり整備課長 住宅地の道路は、柿の実団地は開発時に町道に移管。水汲み団地は私道だったが、自治会関係者の努力で私道採納・町道への移管が進み残り1路線。今年度は町も協力して進めていく。道路側溝など排水は現地をよく調べることが必要。状況把握の調査を実施していきたい。

問 福祉タクシー利用券助成の充実を一。障がい者手帳をもつ高齢者（免許返納者）から、「定期的な春日部市の病院通院に片道2,500円以上かかる。助成額を増やしてほしい」という要望が寄せられている。松伏町は18枚（500円券）だが越谷市では48枚支給。増額が検討できないか。

答 町長 担当に確認したが、窓口で利用者から増額

要望は聞かれていない。利用者の声や他市町村の状況を調査研究するように指示した。

問 ガソリン券の助成（選択制）は、「町単独補助事業の全廃」で平成17年に廃止に。他自治体は継続していること、障がい者のご家族からも強い希望があることから、助成復活を検討できないか。

答 町長 他自治体の事例は参考になる。移動に困難を抱える方の支援の選択肢の多様化、個別ニーズの対応を担当課と考えていく。

福祉タクシー利用券助成の状況 五市一町

	松伏町	越谷市	草加市	三郷市	八潮市	吉川市
タクシー利用券	18枚	48枚	38枚	35枚	28枚	36枚
ガソリン燃料券	×	○	○	○	○	○